

東京都立大学 学術集会等開催支援 成果報告書

報告者 (申請者)	所属	理学部生命科学科	職名	教授
	氏名	村上 哲明	e-mail	nmurak●tmu.ac.jp (メールを送信される場合は●を@に変換してください)
学術集会名	日本植物学会第 85 回大会 (八王子)			
開催会場	オンライン開催			
開催日時	9 月 16 日 (木) ~9 月 20 日 (月・祝)			
開催概要・成果等				
<p>1. プログラム・内容</p> <p>下記の日本植物学会第 85 回大会 (八王子大会) ホームページ内に記載。 http://bsj.or.jp/bsj85/index.html</p> <p>2. 参加者 (参加者数、参加者所属・職位等)</p> <p>参加者数 936 名 (内訳：一般会員 391、学生会員 (大学院生) 280、学生会員 (学部学生) 26、50 年会員 6、シニア会員 17、名誉会員 1、非会員 23、非会員 (シンポジスト) 40、非会員 (学部学生) 56、高校生・教員 96)</p> <p>海外研究者 河島友和 (Univ. of Kentucky) George Chuck (UC Berkeley) 唐艶鴻 (北京大学) Scott Boden (University of Adelaide)</p> <p>3. 成果</p> <p>日本植物学会は、植物科学の「総合学会」として幅広い研究材料を対象とし、植物科学に関わる幅広い分野からの参加者が集う学会であることが特徴である。また、日本植物学会大会 (年一回開催) はこれまでに 84 回の実施されており、我が国の学会大会で有数の歴史を誇る。東京都立大学での開催は、1991 年に第 56 回大会が開催されて以来 30 年ぶりの開催であった。</p> <p>第 85 回大会 (八王子大会) には 936 名もの参加者があり、228 件の一般口頭発表、168 件のポスター発表、そしてシンポジウムや高校生ポスターも含めると 515 件の発表が行われ、広く植物科学に関する知見や情報を共有するとともに、社会への植物科学の普及をはかることができた。また、今大会の実施により、植物学分野における本学理学部生命科学科のプレゼンスも高まった。</p>				